



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 リバーエレテック株式会社
 コード番号 6666 URL <http://www.river-ele.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 富士男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 天野 伸幸
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 0551 - 22 - 1211

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,477	36.3	602	153.8	571	157.5	510	127.1
2021年3月期第2四半期	2,550	26.9	237		221		224	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 583百万円 (185.5%) 2021年3月期第2四半期 204百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	61.20	61.06
2021年3月期第2四半期	30.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	9,462	3,292	34.8	381.53
2021年3月期	7,903	1,631	20.6	215.80

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 3,292百万円 2021年3月期 1,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		5.00	5.00
2022年3月期		5.00			
2022年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,083	29.8	1,090	88.9	1,035	94.7	833	49.1	98.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	8,692,652 株	2021年3月期	7,592,652 株
2022年3月期2Q	62,598 株	2021年3月期	62,550 株
2022年3月期2Q	8,342,665 株	2021年3月期2Q	7,371,321 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、持ち直しの進む中国や米国などの先進国にけん引され、景気の回復が進みましたが、依然として新型コロナウイルス感染症による影響を受け、先行き不透明な状況が続いています。当社の属する電子部品業界は、5G向けの需要に支えられ堅調に推移していますが、引き続き半導体等の部材の需要拡大にともなう供給不足が懸念されています。

当社グループの業績は、製品別においては、主力の小型音叉型水晶振動子の受注が堅調に推移したほか、MHz帯の水晶振動子も高周波・小型製品の受注が好調に推移しました。アプリケーション別においては、LPWA (Low Power Wide Area) 等のIoT関連の無線モジュール向けが大幅に伸長したほか、医療やVR機器等の受注も好調に推移しました。他方、スマートフォン向けは需給ひっ迫の状況は続いているものの、半導体不足の影響を受け、前年を下回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年を926,463千円上回る3,477,191千円（前年同期比36.3%増）となりました。また利益面では、減価償却費の増加があったものの、増収効果や原価低減などに努めた結果、営業利益は602,608千円（前年同期153.8%増）、経常利益は571,452千円（前年同期157.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は510,612千円（前年同期127.1%増）となりました。また、売上高営業利益率は17.3%であり、中期経営計画における目標値である15%を上回っております。

世界的な半導体等の部材不足については、一部のアプリケーションにおいて影響を受けているものもありますが、業績への影響は軽微であります。また、新型コロナウイルス感染症についても当社グループへの影響は軽微であります。

なお、セグメント別の経営成績につきましては、第1四半期連結累計期間より記載を省略しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（セグメント情報等）」の「（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の増加952,098千円、受取手形及び売掛金の増加296,933千円、原材料及び貯蔵品の増加160,453千円、機械装置及び運搬具の増加361,573千円、建設仮勘定298,590千円の減少等により、前連結会計年度末から1,559,428千円増加し、9,462,780千円となりました。

負債合計は、賞与引当金の増加69,736千円、設備関係支払手形の減少258,107千円、長期借入金207,592千円の増加等により、前連結会計年度末から101,469千円減少し、6,170,147千円となりました。

純資産合計は、資本金の増加561,602千円、資本剰余金の増加561,602千円、利益剰余金471,704千円の増加等により、前連結会計年度末から1,660,897千円増加し、3,292,632千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は344,310千円(前年同期は372,958千円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益570,269千円、減価償却費259,638千円、売上債権の増加272,788千円、前受金の減少152,264千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は752,416千円(前年同期は289,671千円の使用)となりました。これは主に定期預金の預入による支出473,770千円、定期預金の払戻による収入521,050千円、有形固定資産の取得による支出798,393千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は1,356,105千円(前年同期は126,115千円の獲得)となりました。これは主に長期借入れによる収入900,000千円、長期借入金の返済による支出658,105千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,106,165千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年10月18日に公表いたしました「第2四半期(累計)および通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。新型コロナウイルス感染症の影響により業績予想の修正が必要となれば速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,713,296	2,665,395
受取手形及び売掛金	1,271,330	1,568,264
商品及び製品	123,282	71,966
仕掛品	470,207	467,247
原材料及び貯蔵品	574,223	734,677
その他	302,006	260,134
貸倒引当金	△22,020	△23,590
流動資産合計	4,432,327	5,744,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	332,751	392,216
機械装置及び運搬具(純額)	1,376,117	1,737,690
工具、器具及び備品(純額)	83,410	120,817
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	21,433	73,896
建設仮勘定	798,659	500,068
有形固定資産合計	3,027,801	3,240,118
無形固定資産		
ソフトウェア	2,026	2,407
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	11,492	11,873
投資その他の資産		
投資有価証券	60,440	63,304
繰延税金資産	215,754	254,263
その他	155,535	149,127
投資その他の資産合計	431,730	466,695
固定資産合計	3,471,025	3,718,686
資産合計	7,903,352	9,462,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	312,783	348,068
短期借入金	1,101,514	1,155,177
1年内返済予定の長期借入金	1,170,389	1,204,692
未払法人税等	92,838	112,094
賞与引当金	97,103	166,839
設備関係支払手形	558,679	300,571
その他	608,114	306,555
流動負債合計	3,941,422	3,593,997
固定負債		
長期借入金	1,909,236	2,116,828
繰延税金負債	34	37
役員退職慰労引当金	123,350	116,100
退職給付に係る負債	288,938	284,432
その他	8,634	58,752
固定負債合計	2,330,194	2,576,150
負債合計	6,271,617	6,170,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,227	1,681,829
資本剰余金	82,243	643,845
利益剰余金	601,571	1,073,275
自己株式	△9,235	△9,304
株主資本合計	1,794,806	3,389,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△325	△854
為替換算調整勘定	△169,499	△96,159
その他の包括利益累計額合計	△169,825	△97,013
新株予約権	6,754	-
純資産合計	1,631,735	3,292,632
負債純資産合計	7,903,352	9,462,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	2,550,728	3,477,191
売上原価	1,808,840	2,277,702
売上総利益	741,887	1,199,489
販売費及び一般管理費	504,429	596,880
営業利益	237,458	602,608
営業外収益		
受取利息	1,793	676
受取配当金	933	958
為替差益	4,012	761
補助金収入	3,248	1,935
作業くず売却益	762	2,230
その他	1,238	1,947
営業外収益合計	11,988	8,509
営業外費用		
支払利息	25,175	31,661
株式交付費	-	5,604
その他	2,362	2,400
営業外費用合計	27,537	39,665
経常利益	221,909	571,452
特別利益		
固定資産売却益	-	223
特別利益合計	-	223
特別損失		
固定資産除却損	139	1,298
投資有価証券評価損	160	97
投資有価証券売却損	-	11
特別損失合計	299	1,406
税金等調整前四半期純利益	221,609	570,269
法人税、住民税及び事業税	46,207	97,981
法人税等調整額	△49,473	△38,323
法人税等合計	△3,265	59,657
四半期純利益	224,875	510,612
親会社株主に帰属する四半期純利益	224,875	510,612

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	224,875	510,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,851	△529
為替換算調整勘定	△24,355	73,340
その他の包括利益合計	△20,504	72,811
四半期包括利益	204,371	583,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,371	583,423

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	221,609	570,269
減価償却費	194,277	259,638
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59	89
賞与引当金の増減額(△は減少)	68,510	69,736
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△7,250
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,896	△4,506
受取利息及び受取配当金	△2,727	△1,635
支払利息	25,175	31,661
為替差損益(△は益)	2,367	△22,698
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△223
有形固定資産除却損	139	1,298
投資有価証券売却損益(△は益)	-	11
投資有価証券評価損益(△は益)	160	97
補助金収入	△3,248	△1,935
株式交付費	-	5,604
売上債権の増減額(△は増加)	△4,162	△272,788
棚卸資産の増減額(△は増加)	△64,267	△95,310
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,144	35,003
未収入金の増減額(△は増加)	4,219	△2,496
未払金の増減額(△は減少)	△4,684	△3,564
前受金の増減額(△は減少)	706	△152,264
その他	△28,680	50,143
小計	399,206	458,879
利息及び配当金の受取額	2,720	1,635
利息の支払額	△25,639	△33,039
法人税等の支払額	△6,894	△85,100
法人税等の還付額	316	-
補助金の受取額	3,248	1,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,958	344,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△463,840	△473,770
定期預金の払戻による収入	445,936	521,050
有形固定資産の取得による支出	△269,394	△798,393
有形固定資産の売却による収入	-	2,042
無形固定資産の取得による支出	-	△750
投資有価証券の取得による支出	△3,022	△3,032
投資有価証券の売却による収入	-	17
その他	648	420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△289,671	△752,416
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,048	53,662
長期借入れによる収入	698,333	900,000
長期借入金の返済による支出	△579,486	△658,105
自己株式の取得による支出	△26	△68
リース債務の返済による支出	△4,753	△7,898
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	1,106,165
配当金の支払額	-	△37,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,115	1,356,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,586	42,712
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	194,815	990,712
現金及び現金同等物の期首残高	1,084,945	1,135,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,279,761	2,126,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ561,602千円増加しております。その結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,681,829千円、資本剰余金が643,845千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、輸出取引については、主として船積時に収益を認識しておりましたが、財又はサービスを顧客に移転し当該履行義務が充足された一時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,565千円減少し、売上原価は8,519千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10,045千円減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,042千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は1,257千円減少しております。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過措置に従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期について、当初2022年3月期末までに収束に向かうものと仮定しておりましたが、緊急事態宣言が再び首都圏中心に発出される等の経緯を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は2023年3月期末まで一定期間にわたり及ぶものと仮定の見直しを行い、会計上の見積り(主に繰延税金資産の回収可能性)を行っております。この仮定の見直しに伴う四半期財務諸表への影響は軽微であります。

なお、会計上の見積りについては、実績及び中・長期計画を含む将来に関する情報に基づき適切に算出しておりますが、予測不能な前提条件の変化により当該見積りに変動が生じた場合には、当社グループの財政状態や経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,533,973	16,754	2,550,728	2,550,728
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,533,973	16,754	2,550,728	2,550,728
セグメント利益又は損失(△)	222,793	△884	221,909	221,909

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	221,909
四半期連結損益計算書の経常利益	221,909

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

当社グループは、水晶製品以外にその他の電子部品事業を営んでおりますが、当社グループの業績における重要性が乏しく、報告セグメントは水晶製品のみとなるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間より、「その他の電子部品」の量的な重要性が低下したことに伴い、報告セグメントを「水晶製品」のみに変更し、セグメント情報の記載を省略しております。